

# 親子聖書日課

NO.1742 2022.2/13-19 名前

[日]主は無学で無力な者をあえて選ばれました。それは「あんな立派な人だから救われた」と言わせないためです。宣教という「賢い手段」でなく、「愚かな手段」によって救われたのですから、「私みたいな者でも救われた」と、恐れずに語ろう！

[月]「霊の人」とは、聖霊に満たされたクリスチャンのことです。その人は、自分の思いはあっても、「キリストの思い」を優先させます。不可能に見えることでも、主の言葉に賭けることができます。主に委ねるので、「神の深みさえ極める」のです。

[火]肉の人」とは、主を信じて、自分の思いを優先させ、「ただの人」未信者のように生きる人です。心の王座には相変わらず自分がいて、主の言葉に従いません。乳飲み子ではなく、成熟した信者になりましょう。信仰は年数ではありません。

[水]教会の土台は主ですが、その上にどんな材料で建てるかが、問われています。「木、草、わら」最低の物で建てるのか、「金、銀、宝石」最上の物で建てるのか、「おのおの仕事が明るみに出される」時が来ます。最上のものを捧げて、建てましょう。

[木]主に仕える人は、「上手か下手か」ではなく、「忠実か不忠実か」が問われています。どんな小さな奉仕でも、心を込めて忠実にいきましょう。忠実な人には、更に大きな仕事が託されます。礼拝を第一とし、十一献金を忠実に捧げていますか。

[金]古いパン種(悪い習慣)がある限り、純粹で真実な信仰には至りません。「これ位いいかなあ」と思わないで、みだらな思いや高ぶりを感じたら、すぐに止めましょう。「古いパン種をきれいに取り除かない」と膨らんで心を滅ぼします。要注意です。

[土]教会の中で問題を起こす人が出た場合、外部の人に訴えないで、まずその人のために祈り、「知恵ある者」に仲裁と頼むとよいでしょう。牧師や執事は「知恵ある者」に当たりますから、聖霊に満たされて、よい判断ができるように、祈りましょう。



	聖書	問題	答え
日	I コリント 1:18-31	神は宣教というどんな手段によって信じる者を救おうとされますか。	
月	2:1-16	私達は誰の思いを抱いていますか。	
火	3:1-9	大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、どんな神ですか。	
水	3:10-23	あなたがたはその何ですか。	
木	4:1-21	管理者に要求されているのは何ですか。	
金	5:1-13	何をきれいに取り除くべきですか。	
土	6:1-11	正しくない者が何を受け継ぐことができませんか	
感想と祈りの課題			